

# 園だより あおいそら 2月号



令和8年1月15日(木)  
熊本大学教育学部附属幼稚園

## 園長のコラム

### あけまして おめでとうございます

保護者の皆様、ご挨拶が遅くなりましたが、本年もよろしくお願いいたします。

皆様、健やかにお過ごしのことと思います。私は、毎年のことですが、1月1日、元日に幼稚園に行きます。初詣に行くよりも何よりも早く幼稚園へ行き、くすのきに手を合わせます。園内の空気はひときわ透き通り、とても静かです。木の枝に注ぐ光がくすのきを生き生きとさせてくれています。くすのきに「今年も子ども達を優しく、温かく見守ってください。附属幼稚園110周年おめでとうございます。これからずっと幼稚園を守ってください。」とお願いをしました。さわさわと葉を揺らし、答えてくれたようです。

さて、3学期が始まりました。締めくくりの学期となります。

まず、初めに1月24日(土)、本園の幼児教育研究会を行います。たくさんの方がご来園予定です。今年は、「これからの『くらし』を考える～幼児と共につくる遊びと生活を通して～」としまして研究をしております。講師に、名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部 教授 津金美智子先生にご講演、ご指導をいただきます。研究会では、本園の研究を県内外幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、大学など様々な校種の先生方に、子どもの遊びを見ていただいて、研鑽し、研究を深めていけたらと思います。附属幼稚園の幼児教育研究会は、本園の幼児教育を広めるということだけでなく、保育を多くの人に見ていただくことにより、熊本県の保育者としての資質を向上させ、よりよい生活を通して子ども達を豊かに育てていくことが大きな目的となります。

次に、2月になりましたら、豆まき、年少・年中さんの表現発表会、お別れ遠足、保育参観などを予定しております。お子様の成長をご覧になり、触れ合いながら感じていただけたらと思います。3月になりますとPTA 総会・教育後援会総会、そして卒園式、修了式など子ども達の成長を讃え、1年の総まとめとしての大切な行事があります。今学期も、子ども達の学びや健やかな成長を願い、職員一同取り組んでまいります。3学期も、保護者の皆様には、いろいろとご理解、ご協力をお願いするかとと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

#### 「お正月飾り・鏡もち」

毎年、始業式の日、子ども達へお正月のお話をします。12月の餅つきの日、保護者の皆様に用意いただいた鏡もちをリズム室と玄関に飾りました。本物の鏡もちとしめ飾りを子ども達に見せました。ちょっと難しいのですが、お正月ならではのお話をしました。

**\*お餅を二つ重ねる理由** \*橙(だいたい)を置く理由  
**\*裏白を敷く理由** \*しめ飾りの由来 \*門松の話など

お正月飾りは、『みんなが幸せな一年になるよう、幸せを運ぶためにお飾りをする』日本の伝統と文化を知って欲しいと思います。

#### 本物を知るといふ宝物

楽器の音色は、その物に直接触れ、音を出してみないと音の響きや音色、音を奏でる振動はわかりません。そしてその感動は、ずっと心と体で生きていくものです。私が教諭のころ、「子ども達には本物に触れさせてあげたい。」と副園長先生から何度も教えていただき、その経験の大切さは今でも心に残っています。身近にいろいろ便利な代替品や情報、映像は、たくさんありますが、園生活の中で子ども達には、「本物を見て、聞いて、感じて、触れて」その世界や時代を感じられる経験をしてほしいと思っています。その時の感動はこれからの人生の中できっと力になってくれるはずです。